

令和元年度長野市地域包括支援センター事業報告（活動報告）

全てのセンターで運営方針に基づいた事業を実施しておりますが、本報告は、運営方針や計画作成の留意点に記述されていないような各センターで工夫された取組、業務の具体的な取組報告等について概要をまとめたものです。

1 地域包括支援センター業務推進体制

〈自己評価の視点〉

- ①令和2年度地域包括支援センター「事業計画」が適切に作成されている。
- ②2019年度（令和元年度）地域包括支援センター「事業報告」が適切に作成されている。
- ③3職種連携によるチームアプローチが適切に行われている。
- ④職員の資質向上に対する取組を適切に行っている。
- ⑤個人情報の取扱い等、情報管理を適切に行っている。

《業務実施事例》

- 事業計画は法人理事会で評価の承認を得て、広報誌・ホームページ掲載をしている。
- 定時・随時のミーティングにより情報共有を実施。
- 個人情報は郵送や手渡しを基本。やむを得ないFAX送信時は2名体制で番号と名前を読み上げ確認し、FAX前後で受信者への確認の電話を行っている。

2 総合相談支援業務

〈自己評価の視点〉

- ①地域における多職種協働によるネットワークの構築とその活用を進めている。
- ②高齢者の実態把握を適切に行っている。
- ③認知症高齢者及び家族への支援に取り組んでいる。
- ④初期対応を適切に行い課題を明確化した上で、各業務へつなげている。
- ⑤公正かつ中立な立場で、継続的・専門的相談支援を適切に行っている。

《業務実施事例》

- 地域福祉懇談会等に参加し、民生委員や地域福祉ワーカー（生活支援コーディネーター）など地域における関係者と連携し、地域のニーズを把握した。
- 地域のネットワーク構築に取り組んだ結果、地域のクリニック、薬局、金融機関からの相談が増えている。
- 地域の開業医の看護師や事務職員との顔合わせを行い、医療と介護のスムーズな連携が可能となるよう、ネットワークづくりを始めている。
- 定期的な訪問を実施し、相談や問い合わせ時の資料として活用。できる限り個人情報使用に同意をいただき、災害時や警察等からの問い合わせに対応できるようにした。

3 権利擁護業務

〈自己評価の視点〉

- ①権利擁護に関する啓発活動を適切に行っている。
- ②高齢者虐待への対応において、関係機関と連携した通報、支援体制を整え、高齢者虐待事例への対応を適切に行っている。
- ③成年後見制度、社協の日常生活自立支援事業・暮らしのあんしんサービス事業等の活用を促進している。
- ④消費者被害への対応を適切に行っている。
- ⑤高齢者の権利擁護に関して、職員の資質向上に対する取組みを適切に行っている。

《業務実施事例》

- 通報によりセンター内の3職種で協議し、受付票、C票を作成し、中部包括センターに相談。関係機関と連携を図りながら適切に対応をしている。
- 市のマニュアルに沿い、少しでも疑いがあれば受付し、包括内で協議し速やかに市に報告している。関係機関と連携を図り支援体制を整え対応計画を作成し、計画的な対応をしている。
- 業者により高齢者宅に連絡が来て訪問の約束をしたため不安と高齢者より相談があった。職員2名で訪問し業者の訪問に備えた。結局業者は来なかったが、その後の対応について警察に相談し、家族にも対応依頼した
- 弁護士訪問相談会に参加して、法的助言や対応方法を学び、業務に活かしている。

4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

〈自己評価の視点〉

- ①地域のケアマネジャーに対する個別支援を適切に行っている。
- ②地域包括ケアに向けての体制作りを適切に行っている。

《業務実施事例》

- 困難事例を抱える介護支援専門員に対して随時ケア会議を開催し、多職種の視点から支援の方向性を検討した。医療機関との連携も行った。
- 特に支援困難ケースにおいては、継続的な支援、定期的なケア会議の開催をしている。また、個々の資質向上を目指し、年4回の気づきの事例検討会や年2回の勉強会を開催。南部地区合同研修会への協力と管内ケアマネジャーへの広報を行った。
- 介護予防プランのチェック時に地域資源のアナウンスを行い、ケアマネジャーにインフォーマルサービスを意識付けしている。
- 自立支援のための個別ケア会議を年間通して毎月実施した。介護保険サービス以外の地域の資源や本人の力を考えるきっかけとなっている。

5 介護予防ケアマネジメント（介護予防・日常生活支援総合事業）

〈自己評価の視点〉

- ①要支援者等の多様なニーズを把握し、適切なアセスメントのもとに、利用者本人が望む生活という意欲に対して働きかけながらケアマネジメントを進めている。

《業務実施事例》

- 生活のニーズに沿った提案が行えるようにインフォーマルサービスの紹介も積極的に行っている。卒業を視野に入れ、目標達成後は地域の自主グループへの参加が行えるよう支援した。
- 各種アセスメントツールを活用しながら実施した。本人の姿やサービス利用の卒業をイメージできるような働きかけを行い、できる限りインフォーマルサービスの活用を意識した。

6 認知症を正しく理解し適切に対応できる環境づくり

〈自己評価の視点〉

市認知症ケアパスの活用 専門的なサポート体制の強化 認知症高齢者(家族)支援体制の強化

《業務実施事例》

- 地域の実情に応じた地区版のケアパス作成に取り組んだ
- 長野市版ケアパスを用いて、市の認知症施策の活用や社会資源の把握に努め、段階に応じて関係機関へつなげている。また、受診や介護申請で適切なサービスにつながった
- 南部地域の認知症地域支援推進員が定期的に連絡を行い、南部地域の金融機関など施設にアンケート配布。認知症の理解や課題を知ることを行った。
- オレンジカフェ運営ボランティアと協働して認知症サポーター養成講座を開催、身近な場面設定で例を挙げることで、軽度認知障害と思われる方の対応方法について、考える機会をつくった。
- 認知症について地域の中学校での啓もう活動（認サポ）を行い、認知症カフェでの相談支援活動（1回/月）を実施した。
- 認知症サポーター養成講座2回のうち、1回を小学校で開催し、小学校側でも必要性を認識してもらい、毎年の講座開催を依頼された。
- 主治医や医師、担当ケアマネジャーと連携を図り、情報提供を行い医療へつなげたり介護保険サービス内外での支援提案を実施した。

7 地域ケア会議

〈自己評価の視点〉

個別ケア会議の実施 地域ネットワーク会議の実施 長野市ケア会議への検討

《業務実施事例》

- 支援困難ケースへの対応について、随時個別ケア会議を開催し、関係機関と連携を図り支援を行った。地域の開業医にも参加してもらい、充実した会議を行った。
- 篠ノ井支所駐在との合同管内ケアマネジャー連絡会で模擬会議を通じ説明し、次年度開催に向けて準備した。
- 関係機関やボランティア団体等によるネットワークを活用し、地域ネットワーク会議が実施できる体制となってきた。ネットワークの企画会議に出席し、事務局と打ち合わせ等行っている。
- 既存のネットワーク会議にて、地域ケア会議について重要性を説明・周知を行い、ネットワークのメンバーに必要なに応じて参加を依頼することとしている。

8 地域における生活支援コーディネーターとの連携

〈自己評価の視点〉

- ①生活支援コーディネーター（地域福祉ワーカー）との連携による生活支援・介護予防の活動づくりを行っている。

《業務実施事例》

- 地区介護予防・生活支援検討会へ参加。地域福祉ワーカー、たすけあい事業コーディネーターと頻りに連絡を取り合い、個別ケースの相談や地域の実情に合わせた拠点づくりなど、情報交換しながら共通認識ができるよう努めている。また、地区地域福祉活動計画策定委員会へ出席をし、必要に応じて地域福祉ワーカーと連携した。
- 隣接する2地区の地域福祉ワーカーと包括センターと協力し、6月に集いの場を立ち上げた。
- 地域福祉ワーカー、住自協と連携し、検討会コアメンバーとして地区の助け合い活動の推進に向けた支援をし、住民主体の家事援助の活動が立ち上がった。
- 地区介護予防・生活支援検討会に企画から関わっており、検討を凶っている。地域福祉活動計画の策定にも関与。新たに介護予防・生活支援検討会が立ち上げられた地区では、月1回、コミュニティカフェの実現に向けて話し合いに参加。

9 その他

《業務実施事例》

<台風 19 号災害に関すること>

- 避難所を訪問し、高齢者の相談窓口のチラシを作成し掲示板に貼った。時間と曜日を振り分けて避難所に待機をした。
- 保健師・災害ボランティアチームなど、様々な支援会議に出席し、被災者の実態把握やアセスメントを行い、サービスにつなげた。
- 地区ボランティアグループの会議に参加して住民ニーズを把握。
- 災害後に開催した社会福祉法人主催のサロンの運営協力を行っている。
- 被災後、管内のケアマネジャー、通所・訪問系事業所、入所施設と連絡会を開催し、実際に被害のあった事業所の様子を例に、課題共有と今後の備えについて検討した。
- 被災者支援として、管内の利用者から余剰となっている衣類や毛布類を譲ってもらい、窓口となっている介護施設に届ける。

<独自の取組>

- 包括センターの周知活動に力を入れた。独自に広報用ティッシュを作成し配布したほか、広報誌の発行や有線放送による情報発信、マグネットやセンター独自チラシの作成によるPR活動等を実施。
- フレイル予防のため、「動く・食べる・つながる」をポイントに、地区社協と共催で「健康寿命大学7回シリーズ」を開催した。